

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1714号 2003年12月22日(月)

ニューヨークにいた頃からベット・ミドラーが好きな歌手の一人で、彼女のアルバムは今でも良く聴きます。彼女を知らない人だと気づきませんが、今の日本でもあちこちから流れてくる音楽を注意深く聴いていると、例えば彼女が主演し、かつ主題歌を歌った「The Rose」という映画の主題曲などが盛んに流れてくる。良い曲が多いのです。

持っているアルバムの一つは、「Experience The Divine」というアルバムで、その3曲目に「From a Distance」という曲がある。「遠くから」というわけで、遠くから見ると世界はずいぶん違うよ、という曲です。

From a Distance

by Julie Gold

from the album "Some People's Lives"

**From a distance the world looks blue and green,
and the snow-capped mountains white.**

**From a distance the ocean meets the stream,
and the eagle takes to flight.**

**From a distance, there is harmony,
and it echoes through the land.**

**It's the voice of hope, it's the voice of peace,
it's the voice of every man.**

**From a distance we all have enough,
and no one is in need.**

**And there are no guns, no bombs, and no disease,
no hungry mouths to feed.**

From a distance we are instruments

marching in a common band.
Playing songs of hope, playing songs of peace.
They're the songs of every man.
God is watching us. God is watching us.
God is watching us from a distance.

From a distance you look like my friend,
even though we are at war.
From a distance I just cannot comprehend
what all this fighting is for.

From a distance there is harmony,
and it echoes through the land.
And it's the hope of hopes, it's the love of loves,
it's the heart of every man.

It's the hope of hopes, it's the love of loves.
This is the song of every man.
And God is watching us, God is watching us,
God is watching us from a distance.
Oh, God is watching us, God is watching.
God is watching us from a distance.

まあ相場の喧噪、世界的な大事件の連続の中で生きてると、
時にはこの歌詞のような気持ちになることもある、ということです。
しかし、実際の世界はとてこはいかない。神が見ているにしても、
人々が選んでいる神は決して一つではない。神様同士は対立していないのかもしれませんが、
それを信ずる人々はしばしば対立し、その対立は何世紀も続いている。
そして、未来永劫とは言わないが、未永く続くのでしょうか。妥協と対立の構図は続く。
政治も経済もそういう面がある。

世界が常なる不安定な、そして変化の持続する状況にあって重要なのは、
自分の視座や立脚点をどこに置くかと言うことでしょう。そのうえで、「べき論の中に存在する世界」と「べき論では動かない世界」の厳然たる差を見つめながら行動を決める、
ということでしょう。

「遠くから」ばかり世界を見てはいられない現実がある。
来年もそういう現実の年になるでしょう。世界は政治でも軍事でも、

次々に「新しい現実」を突きつけてくるに違いない。

景気は世界的に良くなりそうですが、だからといって全部が見通せているわけではない。最後は「予定は未定」の部分が残る。

気持ちの上でも、2003年を総括し終える前に2004年は幕を開けるのでしょう。いや、実際にあと10日で幕が開く。気ぜわしいことですが、

「変化を楽しむ気持ち」

を忘れなければ大丈夫だとも思う。

読者の皆様には、今年一年お世話になりました。

年始の第一号は多分13日になります。その前に思わぬところから発信する可能性もありますが、それは保証できない。皆様に良い年末年始が訪れますように祈念します。

《当「ニュース」は、住信基礎研究所主席研究員の伊藤 (E-mail ycaster@gol.com) が作成したものです。許可なき複製、転送、引用はご遠慮下さい。また内容は表記日時に作成された当面の分析・見通しで一つの見方を示したものであり、売買を推奨するものではありません。最終的な判断は、御自身で下されますようお願い申し上げます》